

# 江ノ島・鎌倉ミニエコツアー

=江の島鎮守の杜と江の電沿線の植生を学ぼう=

報告者：湘南支部代表 奥平里美



日時：2013年6月30日（日）

場所：江ノ島、鎌倉長谷

参加人数：11名 主催者の親戚、植木屋さん、農業大学生さん、農業高校生さん、地球の緑を守る会の会員さんにお越しいただきました。

## 総括として

日本のへソ、海と森の自然教育園、江ノ島。歴史の町、タイムスリップの鎌倉長谷。この二つのポイントを、今までの観光と違った視点からガイドする、「江ノ島・鎌倉エコツアー」の第二回目が決行されました。

このツアーの趣旨は「本物と偽物を見分ける感性を身につけること」でした。即ち、土地本来のふるさとの森（＝本物）に触れ、その素晴らしさに感動して頂くことが、ツアーのテーマです。世界一木を植えた男、宮脇昭先生の教育方針は、「生き物は人の話を聞いても、本を読んでもダメ。現場、現場、現場です。自分の身体を測定器にして、目で見てにおいをかぎなめて触って調べろ！」ということです。我々湘南支部は、初心者の方でも簡単に「潜在自然植生（土地本来のふるさとの森理論）」を理解し

ていただき、代表的な樹種を覚えて帰って頂けるように努めました。

## ツアーの記録

当日は、梅雨の季節にも関わらず、最高のお天気に恵まれました！海開きの1日前で、既にサーファー達が海で楽しそうです。島の中は少し混雑していましたが、私達の行くところはやはり穴場でした。

タコせんべいの横を通り過ぎ、普通の観光客は正面の神社へ行くところ、私達はエスカー乗り場入口付近の「児玉神社」へ向かいました。

それまで、汗ばんでいた身体もそこへ行くとヒンヤリ。空気がまるで違うのでした。

獣も人も入れない急斜面が守ったその森が、癒しの木陰をつくっていました。

青々と茂る常緑の緑と、落ち葉にはたくさんの命が宿っていました。

静かな境内で、本物の森と偽物の森の違いについて説明した後、ふるさとの森の見方が変わりました。



↑江ノ島 弁天橋

↓児玉神社



季節によって表情を変える樹種

土地本来の樹種は赤

弁天橋

三大海岸低木

・トベラ



・シャリンバイ



・ハマヒサカキ 実がなっていた！

ホテルのところ

・ウバメガシ (低木)



・カナメモチ (亜高木)

児玉神社の本物の森

高木、亜高木、低木、下草の

セットになっている。

高木がなければ低木は暑さで枯れ、低木がなければ高木は水分が足りずに弱ってしまう。

個性の違うもの同士が、

「競争・我慢・共生、共栄」

している！

トップが決まれば子分も決まる。

江ノ島は、宮脇昭教授が中心に全国をまわって作成した

「日本植生誌」の「潜在自然植生図」によれば、この湘南地域で、一番自然が残っているところ。島の中は温暖で、至る所にふるさとの森が見られました。そして巨木が多いのです！

3.11 東日本大震災で、松林は全て流されましたが、南三陸町のタブの巨木は生き残りました。それと同じ、タブの大木だと分かり、皆感動しました！

樹齢が高い大木に触れると、普段感じることができない感動を味わうのだと思います。

森のガイドはポイントスポットで、樹種の説明や森の働きについて説明しました。

参加者の方は終始熱心にメモをとっていました。

時折、樹種の名前を確認する抜き打ちテスト。参加者の方は一生懸命答えて下さいました。

江ノ島を一周ぐる



江ノ島の展望が素晴らしいタブの大木の前で！



スタジイの魚付林 「森は海の恋人」



長谷で 「この木は何でしょう？」

あることが重要である。

#### 児玉神社

- ・ **タブノキ、クスノキ**  
(関東の主木である高木)
- ・ **クスノキ** (西日本に多い)
- ・ **ヤブツバキ、ヤブニッケイ、マサキ、カクレミノ、アオキ、ヤツデ** (低木)、
- ・ **ベニシダ** (下草)

#### 三大銘木

(よく庭木にする木)

- ・ **モッコク**
- ・ モクセイ
- ・ モチノキ

#### 江ノ島帰り道

- ・ **スタジイ (シイの木)**

尾根筋によく生える。

- ・ コナラの巨木
- ・ 葛 (つる性の植物)

#### 長谷

- ・ **アラカシ (カシの木)**

平地によく生える。

#### 本物の森

- ・ 深根性、直根性であらゆる災害に耐えることができます。雑草が生えず、管理費がかかりません。
- ・ 世代交代ができ、子孫を次々に残すことができます。

#### 偽物の森

- ・ 根が浅く、少しのことで倒れてしまいます。間伐、枝打ち、雑草抜きといった管理が必要です。また自ら世代交代できません。似たもの同士しか集まらず、競争力がありません。

りとまわった後、江ノ電でのんびり電車にゆられながら長谷へ移動。

御霊神社の癒しの空間へ足を踏み入れ、写真撮影。大きなタブの実を拾うことい熱中した。

そして最後に、おいしいトルコアイスで旅の疲れを癒し、それぞれ帰路につきました。



ツアーのクライマックス

御霊神社の樹齢 350 年の奇跡のタブの木！



かながわの名木 100 選にも指定！

「坂ノ下の御霊神社のタブノキ」

タブノ実。年は雨が少ないせいかな？  
温暖な気候のせいかな、例年より早く  
落ちている。大きい!!

## 参加者の感想文

「始めてエコツアーに参加させていただき、美しい山や海を見渡しながら日本固有の植物を観賞しました。樹木を目で見て臭いをかいで、直接触って、日本の本来あるべき自然の姿を感じることができました。また、森の生態系がお互い支え合いながら共生していることを学び、風土に根付いた自然に一步一步治していきたいと思いました。」

「学校で決して教えてくれないことを教えてもらいました。人間はただ自分勝手に自然を壊してしまったんですね。今、映画で上映されている「奇跡のリンゴの木」。結果的には、人が余計なことをしなくても自然の成すがままであることが大切だと分かりました。自然に人間も順応しながらいかないといけないんですね。」

「今回、はじめてツアーを単独で主催させて頂きました。準備不足で、風邪をひき体調が悪中、旅の途中で具合の悪さはピークに。しかし宮脇先生の「植物は命をかけてるんだ！」という言葉が何度も頭をよぎり、心をすっかり入れ替えると、体調も嘘のようによくなりました。今回のエコツアーは私にとってただの観光ではなく、真剣勝負、命がけのツアーとなりました！」



「年齢的に高校生から、おじいさんまで三世代が参加できたツアーでした。」

皆さんが真剣にメモをとりながら、真剣に話を聞いてくれたことがよかったです。

最後の御霊神社のタブの木を観て、皆絶句していました。やはり何も語らなくても、その木を見ただけで納得してくれたんだと思います。前回お友達になった「ケバフ鎌倉」の植物博士のムハマドさん！チキンケバフだけでなく、今回はトルコアイスも食べれて皆喜んでいました！！」



# いま知ろう、日本が世界に誇る鎮守の森文化。